



島根大学に留学



FROM



出身国

マレーシア

リン・ジョー・イー・シャーマイン

Lim Jo Yee Sharmaine さん

(自然科学研究科 理工学専攻 博士前期課程2年)

フロリダ大学(アメリカ)に留学



留学先

アメリカ合衆国

田中 優希乃さん

(法文学部 言語文化学科 4年)

大学の図書館の前で。学生から「potato statue」と呼ばれているフライドポテトのようなものがあります。

友人と公園でピクニックをした時の様子(前列右が田中さん)。寮の友人と毎週出かけています。

留学先での様々な挑戦を通じて
自分に自信が持てるようになった!

小さい頃から英語や欧米の文化に触れる機会があり、異文化交流に興味を持っていました。大学でも「英語高度化プログラム」を履修したり、スピーチコンテストに参加したりする中で、徐々に自分の英語力に自信が持てるようになり、留学を決意しました。

留学当初はネイティブの会話についていくのが難しく、友人ができて会話に入れず、人の話を聞くばかりになっていました。私はもともと人前で発言するのが苦手だったため、なるべくアメリカ人学生と一緒にいるようにするなど、英語で会話をしなければならぬ環境に自らを置き、話すことに慣れていきました。

現在は、日本語ボランティアに積極的に取り組んでいます。日本語を学ぶアメリカ人学生の手助けをするため、週2回日本語クラスで学生と交流して

います。また、フロリダにはスペイン語を話す人も多いため、今学期はスペイン語も履修し、英語とスペイン語を同時に学んでいます。

留学で実感した最も大きな変化は、「自信」だと思います。様々なことに挑戦し、困難を乗り越えてきたことで、「これまでやってこれたから大丈夫!」というような自信ができました。帰国後も英語学習と同時にスペイン語の学習も続け、将来的にはビジネスで活躍できる3か国話話者を目指したいです。



大学のフットボールの試合を観戦。(右が田中さん)フロリダ大学のスタジアムはフロリダ州で一番大きく、約9万人の観客が入れます。

学業に真剣に取り組みつつ 生活面も充実した留学生活



1. 2019年に人生初めてのフェスに参戦。チケットの抽選・購入からライブに参加するまでの過程はすべてが新しい経験でした。2. 学部の友人と旅行に行った時のひとコマ。

You Tube で見たビジュアル系バンドとの出会いが日本に興味を持ったきっかけでした。好きなバンドの歌詞や番組のインタビューを理解するために日本語を独学で学び始めました。日本に留学すれば好きなバンドのライブに行けるかもしれないと思い、留学先を日本に決めました。現在は大学院で、コンピュータ関連のことを幅広く勉強しています。学部時代から授業はすべて日本語で受けていたので、授業中だけで理解するのが難しく、週末に補っていました。勉強についていくのは大変でしたが、1年の学業の成績でトップをとって奨学金を獲得できたことはとても印象に残っています。

県内での就職が無事決まったので、今まで身に付けたスキルや自分の長所を仕事現場で活かしたいと思っています。実際の現場がどのようになっているのか、自分がどこまでできるのかを知りたいですし、もっとスキルを向上させたいと思います。